

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 9 月 18 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2
公立大学法人横浜市立大学

氏 名 理事長 近野 真一

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕
電 話 045-261-5656

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号
氏 名	公立大学法人 横浜市立大学

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	コウリツダイガクホウジン ヨコハマシ立大学附属市民総合医療センター
病院名	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

3 所在地

〒232-0024 横浜市 南区浦舟町4丁目57番地 電話：(045)261-5656

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
42床	0床	0床	0床	613床	655床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>35</u> 床 (G-ICU8床・E-ICU12床・CCU6床・NICU9床) (主な設備) 生体情報モニタリングシステム、人工呼吸器、除細動器、超音波診断装置、内視鏡システム、DVT 予防フットポンプ、血液ガス分析装置、体温維持装置、医療用ポンプ、スケールベッド、血液浄 化装置、補助循環装置、閉鎖式・開放式保育器、電気メス、陰陽圧空調システム、顕微鏡(オ ンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA:2800)
化学検査室	(主な設備) 全自動生化学分析装置(日立ハイテック:Labospect008α、Labospect006)、全自動免疫分析装置(ロシュ: COBAS8000、シーメンス:ケミルADVIA Centaur XPT)、多項目自動血球分析装置(シスメックス:ZN-9100)、全自動 血液凝固測定装置(シスメックス:CN-6500)、全自動尿分析装置(栄研化学:US3600)、全自動尿中有形成分分 析装置(シスメックス:UF-5000)、高純水製造装置(メルク)、システム顕微鏡(オンパス:BX53)、遠心分離機 (KUBOTA)、試薬冷蔵庫・ティーフリーザー・バイオハサード用安全キャビネット(PHC)
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査装置(ベックマン・コールター:WalkAwayDxM1096)、マイクロキャンパネル用自動菌液分注装置(ベックマ ン・コールター:AutoRenok BRIDE II)、微生物分類同定分析装置(ベックマン・コールター:MALDI Biotyper sirius)、全自 動血液培養装置(ピオムュー・ジャパン:VIRTUO)、バイオハサード用安全キャビネット(PHC)、システム顕微鏡(オンパス: BX43)、蛍光顕微鏡(オンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA:S700FR)、遺伝子解析装置(ピオムュー・ジャパン: FilmArray、ロシュ:コバズ480、ロシュ:MagNApure24システム、Bio Rad:QX200 Droplet Reader IVDシステム)、自動染色 装置(セントラル科学貿易:POLYSTAINER)、試薬冷蔵庫・ティーフリーザー(PHC)、ふ卵器・CO2培養器 (HIRASAWA)、オートクレーブ(TOMY:SX-500)
病理検査室	(主な設備) 自動染色装置・自動免疫染色機・遺伝子検査機器・薄切器・自動包埋装置・包埋センター・スライド ガラスプリンター・顕微鏡・遠心機・凍結標本作製機・撮影装置・実験台・浄水器・電子顕微鏡・超薄 切器・クリーンベンチ・安全キャビネット・試薬冷蔵庫・試薬棚・ホルマリン対策用切出上台・秤・カセット プリンター
病理解剖室	(主な設備) 解剖台・撮影装置・冷蔵庫・水洗槽・臓器保管棚・安全キャビネット・臓器固定槽・ ホルマリン対策用切出し台・遺体安置冷蔵庫・秤
研究室	(主な設備) ティーフリーザー、イメージアナライザー、マイクロプレートリーダー、卓上型振とう恒温槽、ディス カッション顕微鏡、小型超遠心機、リアルタイムPCRシステム、オールインワン蛍光顕微鏡、超純水 製造装置システム、マイクローム、全自動電気泳動装置、クリーンベンチ、薬用冷蔵ショーケース、 スーパーエレクトロポレーター、マルチガスインキュベーター、インジェクションシステム、紡錘体可視 化システム、自動セルカウンター等、レーザー穿孔装置、ダイセクションシステム、実体顕微鏡、 CO2インキュベーター、ゲル撮影・イメージング装置等
講義室	収容定員 <u>60</u> 人 室 数 <u>1</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 書 数 <u>20,999</u> 冊程度 雑 誌 <u>1,006</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>2</u> 台 (内訳: 医師搬送用緊急自動車1台、転院搬送用緊急自動車1台) (主な設備) 医師搬送用:AED、吸引器、無線機、酸素ボンベ 転院搬送用:AED、吸引器、酸素ボンベ、ストレッチャー、バックボード、リチウムバッテリー、患者 灯、点滴フック、電動油圧リフターゲート、ルーフターフ
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>59.3</u> m ² 【共用室の場合】 _____ 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①/② - (③+④+⑤)	86.5%
	①紹介患者数	20,755人
	②初診患者数	27,343人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	2,349人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	998人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦/② - (③+④+⑤)	93.5%
	⑦逆紹介患者数	22,443人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	30人	歯科医師	0人	看護師	147人
薬剤師	59人	臨床検査技師	84人	臨床工学技士	26人
診療放射線技師	61人	保健師	0人	看護補助者	0人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	47床
専用病床	(E-ICU)12床 (救命病棟)8床 (救命後方病棟)27床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
X線撮影室	23.3㎡	(主な設備)X線単純撮影装置 島津製作所;UD150BC-41	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT検査室	25.4㎡	(主な設備)X線CT検査装置 キヤノン;TSX-303B/GA	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT初療室	67.8㎡	(主な設備)X線CT検査装置 東芝;TSX-303A/PI	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
X線透視室	29.8㎡	(主な設備)X線透視撮影装置 キヤノン;DREX-UI80/07	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
血管撮影室	47.5㎡	(主な設備)X線血管撮影装置 東芝;INFX-8000V/JE	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救急棟地下2階 MR検査室	28.3㎡	(主な設備)MRI検査装置 東芝;MRT-1510	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

平成15年4月 厚生労働省から高度救命救急センターに承認

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,722人
	(2,349人)
上記以外の救急患者の数	4,808人
	(1,075人)
合計	9,530人
	(3,424人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	0人
B：救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,771,005人
C：A/B×1,000>2	0.0

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	17施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	17施設
医療機器共同利用件数	66件
共同利用病床数	1床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他(腹部エコー)	<input checked="" type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	528施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件－開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注)登録医療機関の名簿を添付してください。(別紙1-1、1-2のとおり)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙2-1、2-2のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	51回
(2) (1)の研修参加者数	2,584人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
本館6階会議室	137.20㎡	(主な設備) テレビ会議システム、電子カルテシステム、プロジェクターシステム(ブルーレイ)、大型スクリーン、マイク、司会者台、調光、給湯室、無線LAN(YCU-WL)、会議机(3人掛)18台、椅子75脚
本館3階会議室	47.45㎡	(主な設備) 無線LAN(YCU-WL)、ホワイトボード 会議机(2人掛)9台
研究棟4階会議室	75.89㎡	(主な設備) テレビ会議システム、無線LAN(YCU-WL)、司会者台 会議机(2人掛)17台、椅子45脚
本館2階会議室	31.18㎡	(主な設備) スクリーン、無線LAN(YCU-WL) 会議机(2人掛)6台、椅子15脚

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	患者総合サポートセンター 担当課長	
管理担当者(役職名)	患者総合サポートセンター 地域連携担当係長	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)	各部署及びシステムサーバ (病院日誌、各科診療日誌(病棟日誌)は、紙媒体、その他は、電子カルテで患者IDごとに分類)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携担当
	救急医療の提供実績	医事管理担当
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域連携担当
	閲覧実績	地域連携担当
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域連携担当

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	患者総合サポートセンター 担当課長		
閲覧担当者(役職名)	患者総合サポートセンター 地域連携担当係長		
閲覧の求めに応じる場所	病院内各会議室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>【1】令和6年7月19日(Web開催)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域医療連携実績報告 2 LINE を活用した初診予約システムの導入 3 返書について 4 救急の応需状況 <p>【2】令和6年11月15日(対面及びWebによるハイブリッド開催)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域医療連携実績報告 <ol style="list-style-type: none"> ①外来・入院など病院稼働状況の推移②地域連携研修会開催実績 ③医療機関訪問活動 ④初診予約対応実績 ⑤返書について <p>【3】令和7年1月17日(対面及びWebによるハイブリッド開催)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域医療連携実績報告 2 入退院支援の実績報告 3 薬薬連携の取組・実績報告 4 救急応需状況の報告 <p>【4】令和7年3月24日～31日(メール会議形式により開催)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域医療連携実績報告 <ol style="list-style-type: none"> ①外来・入院など病院稼働状況の推移②地域医療連携研修会の実績 ③医療機関訪問活動の実績 ④初診予約における手法別の対応割合 2 初回報告書の作成状況について 3 救急医療の取組について <ol style="list-style-type: none"> ①横浜市病院群輪番制度事業への参加について ②救急統計報告(救急車受入台数・急患者数、2次救急応需件数・応需率、3次救急応需件数・応需率) 	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	「その他」記入欄 病棟面談 医療ソーシャルワーカー、看護師、 相談員(看護師、事務職員)
患者相談件数	42,910件
患者相談の概要	
<p>①医療ソーシャルワーカーによる相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転退院支援 ・介護保険、障害者総合支援法のサービス導入 ・経済的な課題に対する相談支援 ・権利擁護(児童・高齢者・障害者虐待、ドメスティックバイオレンス等) ・その他の社会的・心理的な相談支援 <p>②入退院支援センター看護師による入退院支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院予定患者のプロフィール聴取、退院支援が必要なリスクの抽出 ・各担当病棟での入院患者に対する退院支援(療養先の選択、介護保険案内、日常生活援助含めたサービス調整、緩和ケア病棟の案内など) ・院内外関連スタッフとの連携、カンファレンスなどの開催 ・地域医療機関(訪問看護・在宅支援診療所・病院)、福祉施設、事業所、関連する行政機関との連携 <p>③医療コーディネーター(メディエーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の医療機関の情報提供(かかりつけ医の検索) ・セカンドオピニオンの相談 ・病院に対する意見や苦情の窓口 ・医療安全管理に対する相談の窓口 ・電話相談(相談内容により関連部署に繋げている) 	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 「機能種別 一般病院3(3rdG:Ver2.0)」 認定日:令和2年1月6日 「機能種別 一般病院3(3rdG:Ver3.0)」 認定日:令和7年1月6日 (認定期間:令和6年4月19日～令和7年8月31日) ※現在確認審査中であり審査終了までは 上記終期以降もみなし認定期間となる	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	・情報発信の方法、内容等の概要 ①病院のご案内(冊子):1回/年発行 近隣の医療機関に郵送している。初診予約方法、登録医制度や共同利用制度などの案内や、当院の各診療科の診療内容について具体的な情報を掲載している。 ②十全(情報誌):2回/年発行 一般向け 病院の各所に置いて自由にお持ちいただく 当院の取り組みや、診療科のトピックスなど ③外来担当医表:1回/年発行 地域医療機関向け 当院の外来担当医を掲載し郵送している。 ④病院ホームページ:随時編集 地域医療連携研修会の開催案内や、上記①, ②の編集等 ⑤メールマガジン「YCU medical center 連携NEWS」:診療科のトピックスなどを紹介。	

3 退院調整部門

退院調整部門の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	・退院調整部門の概要 名称 患者総合サポートセンター(医療ソーシャルワーカー・看護師・事務) 本人・家族の意思決定を支援しつつ、療養上の課題、療養の場の選択・移行に関する調整等を行い円滑な転退院支援に取り組む。	

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	①パスの内容や運用等を説明するために診療所等への訪問 ②医師と共にパスの内容と運用の見直し ③パス適応患者の選定と活用推進するための体制構築		

横浜市立大学附属市民総合医療センター共同利用制度運営要領

制 定 平成 16 年 5 月 21 日

最近改正 令和 4 年 4 月 1 日

第 1 総則

1 目的

この要領は、横浜市立大学附属市民総合医療センター（以下「当院」という。）の施設又は医療設備を主に横浜市南区、西区、中区、港南区、磯子区、金沢区、栄区（以下「地域」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

2 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次のとおり甲（紹介患者診療型共同利用を行う）、乙（紹介患者診療型共同利用を行わない）とする。

- | | |
|---|-----------------|
| 甲 | (1) 医療器械利用型共同利用 |
| | (2) 研究部門利用型共同利用 |
| | (3) 研修会等参加型共同利用 |
| | (4) 紹介患者診療型共同利用 |
| 乙 | (1) 医療器械利用型共同利用 |
| | (2) 研究部門利用型共同利用 |
| | (3) 研修会等参加型共同利用 |

3 共同利用制度の遵守事項

共同利用制度を利用する者は、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、あらかじめ、管理部患者総合サポート課地域連携担当で受付を行う。
- (2) 当院内においては、第 2 の 5 により発行された登録医証又は登録歯科医証を必ず着用しなければならない。ただし、研修会等参加型共同利用については、この限りでない。
- (3) 当院の諸規則を遵守する。

4 報酬

- (1) 共同利用制度を利用する者に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。
- (2) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

第 2 医療機関の登録

1 事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

2 登録の対象機関

共同利用制度において登録できる機関は、地域に所在する医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）とするが、地域外で共同利用を希望する医療機関等についても登録できるものとする。

3 登録の申請

(1) 共同利用制度の事前登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長（以下「病院長」という）に申請するものとする。

(2) その際、利用内容の甲（第1の2）を希望する医師については医師免許証の写しを、歯科医師については歯科医師免許証の写しをあわせて提出するものとする。

(3) 病院長は、申請内容を審査し事前登録を承認した場合は、「共同利用制度登録機関名簿」にその医療機関等の名称、所在地、医師又は歯科医師の氏名等を登録するものとする。

4 登録医証、登録歯科医証及び登録機関証の発行

(1) 病院長は、「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関等（以下「登録医療機関」という。）に対しては、登録機関証を発行する。

(2) 病院長は、「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関等の医師又は歯科医師（以下「登録医」という。）に対しては、登録医証又は登録歯科医証を発行する。

5 登録名

共同利用制度の利用登録名は、登録医療機関の名称をもって登録するものとする。

6 登録内容の変更

(1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された登録医等を追加するなどその内容を変更する場合には、「共同利用制度変更登録申請書」により病院長に申請するものとする。

(2) 変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。

7 登録医証等の返還

登録の必要がなくなった医療機関等は、病院長に対し、その旨を申し出、登録医証、登録歯科医証及び登録機関証を返還しなければならない。

8 登録の取消

登録医に医師又は歯科医師としての品位を損するような行為のあったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。また、登録医療機関の看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為のあったときも同様とする。

第3 紹介患者診療型共同利用

1 紹介患者診療型共同利用の内容

地域医療機関から紹介され来院若しくは入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、医師については医師免許証の写しを、歯科医師については歯科医師免許証の写しをあわせて提出し登録された医療機関の登録医等とする。

3 共同利用のための病床

当該共同利用のための病床として、1床を確保する。

4 利用内容等の事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ管理部患者総合サポート課地域連携担当に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第4 医療器械利用型共同利用

1 医療器械利用型共同利用の目的

登録医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、登録医と当院医師が当院の医療器械を共同利用することにより、検査後の円滑な診療につなげるとともに、地域医療連携の推進を図ることを目的とする。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、登録医とする。

3 共同利用のための医療器械

当該共同利用として利用できる医療器械は、次のとおりとする。

- (1) コンピュータ断層撮影装置 (CT)
- (2) 磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置 (MR)
- (3) 核医学診断装置 (RI)
- (4) 超音波診断装置
- (5) 長時間心電図記録装置
- (6) 二重エネルギー骨X線吸収測定一体型装置 (DXA)
- (7) 脳波検査

4 利用内容等の事前調整

検査目的で紹介した患者に対して、当該共同利用を行おうとする登録医は、あらかじめ管理部患者総合サポート課地域連携担当に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第5 研究部門利用型共同利用

1 研究部門利用型共同利用の目的

登録医療機関の医療従事者のために当院の研究部門の機能を開放し、地域の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要に応じて、その研究活動に対し、互いに連携することで、地域医療の質の向上を図ることを目的とする。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、登録医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる研究部門は、図書室とする。

4 利用時の手続等

(1) 図書室の利用にあたっては登録医証、登録歯科医証又は登録機関証を提示し、所定の手続を行うとともに備え付けの利用簿に必要事項を記入し利用するものとする。

(2) 図書室の利用については、資料の室内閲覧及び複写とし個人情報以外の情報等に限りものとする。(電子ジャーナルの閲覧は含まない)

第6 研修会等参加型共同利用

1 研修会等参加型共同利用の目的

当院が行う研修研究活動を地域の医療従事者に開放し、研修研究活動を進めることで、地域医療の質の向上を図ることを目的とする。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、地域の医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研修会等

当該共同利用のために参加できる研修会等は、次のとおりとする。

(1) センター病院 CPC、臨床カンファレンス、学術講演会その他これに類する研修研究活動

(2) 病院各診療科が開催する各科症例検討会、研究会又はこれに類する研修研究活動

(3) 病院の看護部、医療技術部門又はその他の部門が開催する研修研究活動

(4) 記念的行事として行われる講演会、その他これに類する研修研究活動

4 利用時の手続

当該共同利用により開催される研修会等を利用しようとする地域医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項を記入するものとする。

附 則

(施行日)

1 この要領は、平成 16 年 5 月 21 日から施行する。

2 この要領は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

3 この要領は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

4 この要領は、平成 25 年 9 月 1 日から施行する。

5 この要領は、平成 29 年 12 月 1 日から施行する。

6 この要領は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

7 この要領は、令和 3 年 11 月 1 日から施行する。

8 この要領は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

地域医療連携研修会 実績 (各診療科)

(令和6年度)

	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第1回	2024年4月8日(月) 19:00~20:30 オンライン配信	災害医療WEBセミナー ①「高カリウム血症の病態について ～Kが上がりやすい人と上がりにくい人～」 ②「-覚悟を決めなければ「災害時」には救えない- 日本DMAT・神奈川県としての取り組みから災害時医療を考える」	国際親善総合病院 腎臓内科 部長 横浜市立大学 救急医学 主任教授 神奈川県災害医療コーディネーター 委員長	5	106	111
第2回	2024年5月2日(木) 18:30~20:00 オンライン配信	横浜皮膚疾患研究会 症例検討会①	皮膚科 部長 等	6	67	73
第3回	2024年5月16日(木) 19:20~20:45 現地開催 ホテルプラム横浜 2階	第14回南横浜整形リウマチ懇話会 「骨粗鬆症を有する患者への人工股関節置換術 -何に注意して手術をし、どう術後フォローをすべきか-」	聖マリアンナ医科大学 整形外科講座 聖マリアンナ医科大学病院 人工関節センター 准教授	14	25	39
第4回	2024年5月22日(水) 18:15~20:00 オンライン配信	第76回感染症フォーラム 「教育科学に基づいた微生物・感染症トレーニング:AI時代のベストプラクティス」	国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター・ 感染症学 教授	6	3	9
第5回	2024年5月29日(水) 19:00~20:15 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第16回南横浜産婦人科病診連携会 「当院で新たに開始した様々な子宮鏡手術について」 「閉経前乳がん患者の治療に伴うQOL変化について」 「SDM (Shared Decision Making) がもたらす満足度の高いHIRT」	婦人科 助教 婦人科 婦人科 非常勤診療医	16	16	32
第6回	2024年6月6日(木) 19:00~20:05 オンライン配信 本館6階会議室	地域医療連携研修会(呼吸器病センター) 「肺がん化学療法における内服分子標的薬の有用性～FGFR遺伝子変異陽性非小細胞 肺がんを中心に 当院の現況のご紹介～」 「超低心機能原発性肺癌症例に対する低侵襲肺癌手術の有用性～胸腔鏡下手術、特 にロボット支援下肺癌手術の有用性について～」	呼吸器病センター内科 助教 呼吸器病センター外科 准教授	19	7	26
第7回	2024年6月19日(水) 17:45~18:45 現地開催 本館6階会議室	第89回CPC(臨床病理検討会) 「頸部腫瘍により呼吸困難を呈した一例」	症例呈示:乳腺・甲状腺外科 助教 画像解説:放射線診断科 病理解説:病理診断科 指導診療医	20	0	20
第8回	2024年6月20日(木) 19:20~20:40 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第62回横浜ベイエリアハートセミナー 「心アミロイドーシスについて」 「HFrEFの早期診断と治療～心房細動との関連も含めて～」	心臓血管センター内科 指導診療医 群馬大学医学部附属病院 循環器内科 病院講師	19	16	35
第9回	2024年7月4日(木) 18:30~20:00 オンライン配信	横浜皮膚疾患研究会 症例検討会②	皮膚科 部長 等	6	58	64
第10回	2024年7月10日(水) 18:20~20:30 オンライン配信 本館3階会議室	横浜腎代替療法講演会 ～令和6年度 第1回腎代替療法施設連携研修会～ 第1部 「リン管理の最新の話題ーリン吸収阻害薬フォセベル錠への期待ー」 第2部 【講演①】「南共済病院における安全なPD導入と管理のポイント」 【講演②】「在宅血液透析の導入教育と導入後指導のポイント」 【講演③】「腎移植に向けた術前診療ー移植外来初診から手術までー」	横浜栄共済病院 診療部長/腎臓内科部長 横浜南共済病院 腎臓高血圧内科 医長 医療法人社団厚済会 横浜じんせい病院 院長 藤沢市民病院 腎臓移植外科 診療科部長	10	114	124
第11回	2024年7月17日(木) 18:50~20:00 ハイブリッド開催 本館6階会議室	地域医療連携研修会(消化器病センター内科) 「膵がん早期診断への取り組み」 「C型肝炎治療をはじめとする肝臓疾患について」	消化器病センター内科 講師 消化器病センター内科 診療教授・肝疾患医療センター長	10	13	23
第12回	2024年7月24日(木) 19:00~20:00 ハイブリッド開催 ワークピア横浜 3階 やまゆり	生活習慣病から考える 心不全・慢性腎臓病セミナー 「生活習慣病と心不全StageA/Bの地域連携」 「心腎代謝連関制御のための費用対効果を踏まえたフォシーガへの期待」	JCHO横浜中央病院 副院長 横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学 主任教授 横浜市立大学附属市民総合医療センター 病院長	3	50	53
第13回	2024年9月4日(水) 18:30~19:30 ハイブリッド開催 本館6階会議室	IBDセンター×総合周産期母子医療センター 合同勉強会 「合併症妊娠に対する投薬:最新の考え方」 「IBD合併妊娠の管理～欧州IBD学会ガイドライン2022年改訂点を中心に～」 「クローン病妊婦から生まれ、分娩後に重篤な小脳出血を来した新生児の1例」	総合周産期母子医療センター・遺伝診療科 部長 炎症性腸疾患(IBD)センター 担当部長・准教授 総合周産期母子医療センター 講師	42	57	99
第14回	2024年9月12日(木) 18:30~20:00 オンライン配信	横浜皮膚疾患研究会 症例検討会③	皮膚科 部長 等	5	66	71

	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第15回	2024年9月18日(水) 17:45~18:45 現地開催 本館6階会議室	第90回CPC(臨床病理検討会) 「意識障害で搬送され、腹水貯留、小腸腫瘍が指摘された1例」	症例呈示: 消化器病センター内科 助教 画像解説: 放射線診断科 病理解説: 病理診断科	35	0	35
第16回	2024年9月26日(木) 19:00~20:30 ハイブリッド開催 研究棟4階会議室	消化器病センター外科 診療セミナー 「進行上部消化管癌に対する集学的治療としての低侵襲手術」 「ロボットを用いた局所進行直腸癌に対する拡大手術」 「肝胆膵領域の低侵襲手術」	上部消化管グループ 診療講師 下部消化管グループ 講師 肝胆膵グループ 准教授	25	16	41
第17回	2024年9月29日(日) 10:00~12:00 オンライン配信	慢性疼痛診療 オンライン研修会(ペインクリニック内科)	医師・公認心理士 ペインクリニック内科 診療部長	38	0	38
第18回	2024年11月7日(木) 18:30~20:00 オンライン配信	横浜皮膚疾患研究会 症例検討会④	皮膚科 部長 等	8	62	70
第19回	2024年11月14日(木) 18:50~20:00 オンライン配信	第15回南横浜整形リウマチ懇話会 「脊椎グループに紹介頂いた患者様のご報告」 「当院におけるロボット支援技術を用いたキネマティックアライメントのご報告」 「当院における寛骨臼形成不全の治療戦略」	整形外科 助教 整形外科 講師 整形外科 講師	29	13	42
第20回	2024年11月14日(木) 19:20~20:40 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第63回横浜ベイエリアハートセミナー 「潜在的脳梗塞患者における卵円孔開閉の頻度とカテーテル治療」 「潜在的脳梗塞を含めた脳卒中の対応について」	心臓血管センター内科 講師 横浜市立みなと赤十字病院 脳神経外科 副部長	17	8	25
第21回	2024年11月27日(水) 19:00~20:10 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第17回南横浜産婦人科病診連携会 「思春期女性の無月経と骨粗鬆症治療について」 「最新の子宮内腺症マネージメント」	婦人科 診療講師 婦人科 講師/部長代理	21	17	38
第22回	2024年12月6日(金) 18:30~19:45 オンライン配信	令和6年度 第1回地域がん医療連携研修会 「子育て世代のがん治療を支える -こどもたちの持つ優しさと強さについて」	静岡県立静岡がんセンター 副院長 小児科部長	17	72	89
第23回	2024年12月18日(水) 17:45~18:45 現地開催 本館6階会議室	第91回CPC(臨床病理検討会) 「原因不明の多発神経障害を呈した症例」	症例呈示: 脳神経内科 指導診療医 画像解説: 放射線診断科 病理解説: 病理診断科 指導診療医	29	0	29
第24回	2024年12月19日(木) 19:30~21:00 オンライン配信	心と痛みのバイサイドセミナー 2024(ペインクリニック内科) 「依存症」	精神科医・研究者 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神 保健研究所 薬物依存研究部 部長 兼 薬物依存症セン ター センター長	10	145	155
第25回	2024年12月20日(金) 19:00~20:45 現地開催 本館6階会議室	南区医師会/横浜市立大学附属市民総合医療センター合同 地域連携研修会 「当院における減量・代謝改善手術」 「胃癌、食道癌に対する低侵襲手術」	消化器病センター外科 診療講師 消化器病センター外科 准教授	33	16	49
第26回	2025年1月9日(木) 18:30~20:00 オンライン配信	横浜皮膚疾患研究会 症例検討会⑤	皮膚科 部長	6	63	69
第27回	2025年1月10日(金) 18:00~19:00 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第11回 褥瘡対策フォーラム 「褥瘡治療とスキンケアについて~急性期と在宅の経験を踏まえて~」	TOWN訪問診療所 城南 皮膚・排泄ケア特定認定看護師	13	29	42
第28回	2025年1月15日(水) 19:00~20:05 ハイブリッド開催 本館6階会議室	地域医療連携研修会(消化器病センター内科) 「肝細胞癌治療の最前線~薬物治療と局所治療の併用について~」 「胆道癌診療の最前線~早期診断から治療まで~」	消化器病センター内科 助教 消化器病センター内科 講師	11	6	17
第29回	2025年1月23日(木) 19:00~20:05 オンライン配信 本館6階会議室	地域医療連携研修会(呼吸器病センター) 「呼吸器疾患の病診連携~重症喘息治療を中心に呼吸器病センター内科の現況のご 紹介~」 「肺がん治療の進歩~ 分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬を用いた周術期治療について~」	呼吸器病センター内科 准教授 呼吸器病センター外科 准教授	13	19	32

	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第30回	2025年1月29日(水) 18:30~20:10 オンライン配信 研究棟4階会議室	令和6年度 第2回横浜市大センター病院 腎代替療法施設連携研修会 【講演①】「血液透析療法および腹膜透析療法の基本と最近の話題および災害対策」 【講演②】「多職種による腎代替療法の説明・教育の意義～慢性腎臓病透析予防指導外来への当院の取り組み～」 【講演③】「腎移植で使用する免疫抑制剤と当院での免疫抑制療法について」	腎臓・高血圧内科 部長 血液浄化療法部 診療講師 泌尿器・腎移植科 准教授	13	59	72
第31回	2025年2月6日(木) 18:30~19:50 オンライン配信	令和6年度第2回 地域がん医療連携研修会 「身寄りのない方の生活を支える」	東京八丁堀法律事務所	18	140	158
第32回	2025年2月13日(木) 19:20~20:40 ハイブリッド開催 本館6階会議室	Bayarea Heart Seminar 64th 「静脈血栓塞栓症の治療」 「臨床医が知っておくべき肺塞栓症とDVTの最近の話題」	心臓血管センター 講師 京都大学医学部附属病院 循環器内科 助教	23	43	66
第33回	2025年2月25日(火) 18:50~20:00 オンライン配信	第16回南横浜整形リウマチ懇話会 「関節リウマチに伴う高度手関節変形に対してKirschner鋼線を用いて手関節固定を施行した一例」 「ひだり下腿開放骨折に伴う外傷性骨欠損症例に対してMasquelet法を施行した1例」 「1. 強直性脊椎炎、びまん性特発性骨増殖症に対する治療 2. 胸椎黄色靭帯骨化症に対する安全な手術治療」	リウマチ膠原病センター(整形) 高度救命救急センター 助教 整形外科 助教	16	10	26
第34回	2025年2月26日(水) 17:45~18:45 現地開催 本館6階会議室	第92回CPC(臨床病理検討会) 「血小板減少症の精査加療中に肝脾腫、脾梗塞を認めた症例」	症例呈示:血液内科 助教 画像解説:放射線診断科 病理解説:病理診断科 指導診療医	33	0	33
第35回	2025年2月27日(木) 18:30~20:00 オンライン配信	地域医療連携研修会 「アルコールと肝臓」 「『変わりたい』を引き出す支援～『酒をやめさせられない』に疲れたら～」	消化器病センター内科 診療教授 肝疾患医療センター長 神奈川県立精神医療センター コ・メディカル 部長	8	37	45
第36回	2025年3月5日(水) 19:00~20:30 ハイブリッド開催 横浜市南公会堂 4F会議室	Yokohama消化器病手術セミナー～低侵襲消化管手術のUp to date～ 「低侵襲上部消化管手術～進行上部癌から減量手術まで～」 「剥離層をテラーメイドするロボット直腸癌手術～根治と機能温存～」 「Advanced therapeutic endoscopy ～内視鏡治療の今後の展望～」	消化器病センター外科 診療講師 消化器病センター外科 講師 内視鏡部 部長	17	20	37
第37回	2025年3月6日(木) 18:30~19:30 オンライン配信	横浜皮膚疾患研究会 症例検討会⑥	皮膚科 部長	7	91	98
合計				621	1,464	2,085

地域医療連携研修会 実績（薬剤部）

（令和6年度）

	日時	テーマ	講師	参加人数
第1回	2024年4月25日（木） 19:15～20:45	多発性硬化症の診断と最新の治療戦略	横浜市立大学大学院 医学研究科 神経内科学・脳卒中医学 助教	49人 (院内4人、院外45人)
第2回	2024年6月6日（木） 19:15～20:45	気を付けたい眼の病気 ～緑内障・糖尿病網膜症を中心に～	済生会横浜市南部病院 眼科 主任部長	44人 (院内2人、院外42人)
第3回	2024年7月18日（木） 19:15～20:45	リアルワールドにおける消化管癌CINV諸問題	神奈川県立がんセンター 消化器内科部長	53人 (院内12人、院外41人)
第4回	2024年8月22日（木） 19:15～20:45	2型糖尿病の薬物療法に必要な視点	横浜市立みなと赤十字病院 糖尿病内科 部長	41人 (院内3人、院外38人)
第5回	2024年9月5日（木） 19:15～20:45	急性骨髄性白血病治療と投与マネジメント	昭和大学藤が丘病院 血液内科 助教	44人 (院内11人、院外33人)
第6回	2024年10月22日（火） 19:15～20:45	当院での泌尿器診療について ～排尿障害、腎移植、性感染症～	横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 助教	49人 (院内4人、院外45人)
第7回	2024年10月23日（水） 19:30～21:00	各メーカー担当者による製品説明 ～使用方法・指導のポイント～	イーライリリー・ノボ ノルディスク ファーマ・ア ボットジャパン・Medtronic・エア・ウォーターメ ディカル・大塚製薬工業	24人 (院内12人、院外12人)
第8回	2024年12月3日（火） 19:15～20:45	行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注 意事項等	横浜市南区役所福祉保険センター 生活衛生課食品衛生係	26人 (院内0人、院外26人)
第9回	2024年12月10日（火） 19:15～20:45	慢性腎臓病とその治療について～薬物療法を中 心に～	横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 准教授	39人 (院内3人、院外36人)
第10回	2025年3月19日（水） 19:15～20:45	潰瘍性大腸炎の診断と治療	横浜市立大学附属市民総合医療センター IBDセンター 助教	36人 (院内1人、院外35人)
合計				405人 (院内52人、院外353人)

地域医療連携研修会 実績（看護部）

（令和6年度）

	日時	テーマ	講師	参加人数
第1回	2024年7月31日（水） 17:30～18:30	嚥下機能の評価と看護ケア	摂食・嚥下看護CN	24名 (院内10名、院外14名)
第2回	2024年9月13日（金） 17:30～18:30	手術を受ける患者に対して、必要なケア、安全 に手術を受けるために必要な看護を学ぶ	周麻酔看護師	35名 (院内25名、院外10名)
第3回	2024年9月30日（月） 17:30～18:30	高齢者のフレイル評価、高齢者特有のフィジカ ルアセスメント	老人看護専門看護師	10名 (院内8名、院外2名)
第4回	2024年11月29日（金） 17:30～18:30	透析療法を行っている患者さんへの理解を深 め、その人に必要な看護を学ぶ	透析看護認定看護師	25名 (院内19名、院外6名)
合計				94名 (院内62名、院外32名)